京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西小門通（電話六六八三）
發行所 京城新報社

鼠疫系路と藤田院長（二）

防止の如きものなれば根本的の絶滅は市街家屋の衞生的改良に在ることは論を俟たざれども病菌の性質上氣候に因て流行消長あることも試驗及經驗全く符合し居れり元來ペスト菌は主として人より人及鼠族より鼠族或は人に感染するものにして水流又は戶外の空氣等より傳播するものにあらざるを以て家屋及船車等人の住居又は鼠族の棲息する處に發育するものなれば本邦內地の流行冬期に於て一時減退せるは本邦の家屋は防寒の目的に對して甚だ乏しく之を缺き屋外も同樣なるを以て嚴寒期には病菌は生存し居るも盛に繁殖し能はざるを以て如此消長あるは尤も興味あることにあらずや反之滿洲土人の家屋の如き尤も粗末なる構造とは云ひ其防寒的構造に於ては大陸的完全なる家屋と稱し一の煖爐あるを以て過日來の酷寒期中に在りても盛に南北滿洲に慘害を流したることとなるべし

滿洲に於ても信ずべき目下の報告に仍るも未だ鼠族間にペスト菌を認めたることなく又腺ペストも之を認めずと云へば春暖の季節に向ひ鼠族に傳播し遂に腺ペストを出すに至れば前述の如き古今の歷史に徵し目下支那內地の衞生狀態に於ては容易に消滅することなく十數年各地に流行消長し其跡を絶たざるに至るべし幸に其呼吸により人より人にのみ感染し居る冬期の間に於て隔離消毒の目的を遂げ之を全滅し得ば此上もなき幸福なれども之れ亦果して如何や且目下滿州及直隸山東二省の報告を圖上に顯はし見ればペスト發生の報告ある地點は悉く鐵道の交通各國領事所在地等にて隨て支那警察も亦緻密に配備せられ彼我の檢病に仍りて發見せられたるものなるべく其鐵道沿線以外の部落に各市街地より驅逐せられたる下等勞働者等より各地の村落に漸々蔓延しつゝある狀況は明かならざれども恰も野火の如く大森林等を燒きたる跡の如く之を自然に放置すれば四方に散蔓し再び燃料のある處に至れば亦其地を燒くが如く目下奉天其他防疫嚴重の網に調査されたる地方は消滅したるが如きも知る少數なる飛火は冥々の内に數十里に散蔓し居るにあらずやと懸念に堪へず兎に角今後の如何を判斷するには滿洲より確實なる研究の報告を待つの外なきも春暖の候に至つて如何に變ずべきやは常に吾人の注目を惹るべからざるものなり

平安南北道に於ける國境隣接地の交通は今後二三週間を經て解氷期に至れば大に活動すべきも夫迄には叙上の目的を判決するに至らざるべきを以て經濟上に於ける關係は諸君其意を以て計畫せられなば或は大過なからん乎云々

●恩賜公債と京畿道

併合後各道府郡へ下付せられたる恩賜公債は總計千七百八十九萬圓にして其內京畿道へ配付せられしは京城府百萬圓其他の府郡約百五十万圓なるが右使途に就ては其利子五分の三を兩班儒生の授產資金に五分の一、五を教育補助費五分の〇、五を救恤慈善事業に投下すべく定められたり然るに現角當時の最短を免れざるより當局者に於ては其目的を空ふせざらん爲めに一方ならず苦心調査を重ねつゝありしが京畿道廳に於ては漸く此頃其方針を決定し近々總督府へ稟申の上裁可を乞ふ筈なりと而して其決定せる方針を聞くに同管內は養蠶地として最も恰當せる箇處尠からざるを以て之が獎勵を主とし該賜金を投下すべく又教育方面に在ては公立普通學校は勿論私立學校にても其經營着實にして總督政治の方針に副へるものに對し補助或は他の方法を以て給付する方針なりと

●大阪と朝鮮米

朝鮮に於ては灌水ある地は勿論天水に依る外なき地に於ても到る所水田を見ざるはなく殆ど全國に亘りて米を產し其米の海外輸出高を見るに、四十一年度の總輸出高四十六萬八千八百二十九石（此價格六百三万五千八百六十九圓）四十二年度總輸出高六十四萬六千九百二十三石（此價格六百四十八萬四千八百二十一圓）の中本邦內地へ移出されたるもの四十一年は四十一万九千七十七石（四百四十四萬七百十五圓）四十二年は六十四万六千五百五十三石（五百五十三萬五百五十七圓）にして朝鮮輸出米の大部分は殆ど內地へ移出さるゝ有樣にして而かも其中の九分は一旦大阪に集りこゝにて消費さるゝを以て朝鮮米の輸出は殆んど大阪市民のためと稱するも過言にあらざる可きが今同地に於ける朝鮮米の相場を聞くに左の如し

▲群山改良上米十三圓三十錢▲同普通十三圓▲木浦改良上米十三圓六十錢▲仁川普通十三圓三十錢▲同古米十二圓六十錢

外事一束

▲露國 內閣は代議院に對し千九百十一年より千九百十五年に至る艦隊建造費金千二百万磅の協贊を求む。

▲獨國 議會は膠州灣豫算案二讀會を終りしが同國社會黨は此際寧ろ膠州灣を清國に還付せん事を要求したりと。

▲反對 獨國海相は右社會黨の要求に對し若今し膠州灣を還付せば獨逸は極東政治的地位を遺棄せるなりと言明す。

▲英國 新紙は露國問題に付露國を批難し就中デリバーグラヒッは露が抵抗力缺乏の清國に蠶食を試むを攻擊す。

▲葡國 オポルドオに於て羅馬敎反對の暴動起り新聞社破壞され政府は嚴重防止の策を講じ葡國の內治愈々困難。

▲否決 米國議會委員會にてペンチット氏提出米布併合交涉開始の動議を一に對する九の大多數にて否決したり。

▲淸國 政府は四月初旬臨時實に各國醫官を會合し鼠疫研究及び療法を講ぜんとし其費用負擔の旨各國に通牒す。

▲北京 來電は不日發表の新官制に付て總理大臣の人選上隆裕皇太后派と攝政王派との暗鬪を報ず是淸國常弊事。

▲穢物 幸德事件に關し英國議會に質問を試みしウエッヂウード氏は議院內の奇矯家氏の質問は冷笑裡に葬らる。

▲謳歌 今回黑龍州沿海總督に任命せられたるゴンダッチ氏に對し極東露國新聞紙は擧つて滿足の意を表せりと。

◎新刊紹介

▲貿易第二月號 貿易業者の必讀を要する好雜誌日英淸の三國文に亘たて好資料甚だ多し（日本貿易協會發行定價十錢）

△東京經濟雜誌 一、五八二號本號には商法改正案に對する名士の論評あり（東京同社定價十二錢）

▲婦女新聞 四六四倍の家庭雜誌料金になる記事不少（東京同社定價三錢五厘）

▲東京金物新報 金物商の機關にして斯業者必讀の小雜誌（東京同社五錢）

尹侯爵澤榮氏萱堂大妃色甲齡
孤座在東妥烟霞 陸北鴛和鳳閣
甲寅風流寒所斜 梅南星照五侯家
金冠角帶章々玉 請祝大人千萬歲
壽榜柑露色々花 更遊瀛複此慶華
右平安南道价川郡中南面龍瀬里
明治四十四年二月二十日 奥三桂謹百拜伏稿

召使れ初（二の七）

碧瑠璃園



人間一代の大事、早急に返答せらるべき事にもなければ、佐五右衞門は後日改めて返答する旨を答へ、德兵衞は尚此上宜しなに御談合、私所望、貫徹の歡びあるやう、一重に願ひ申す由を、繰り返しくゝ云ひ置きて歸り行きぬ、後は夫婦膝を突き合せての相談なりき、

「海老屋の主人め、飛んでも無い事を申し參つた、そなた何と思ふな」

「何を申すもまだ小供、緣邊なぞは取り急ぐにも及ぶまいかと心得ます」

「私も同樣、それに伜が伜、二十歲になつても親に孝する道さへ心得ぬ愚漢らしい、すれば女ながら家を繼がする者も無い、れ道は大切、浮々緣付ける理にも參らぬ、ちやがそなた海老屋の賃仕事致し居る噺」

「海老屋德兵衞裁縫物は、私共只今の米櫃でござります」

「緣邊斷り、それにさし響くこともあるまいかの」と佐五右衞門は吐息つきつゝ「乃公もれ運孝心に耻ぢて、再び盃を手に致さぬ心で居るが、飯を食はずに居る事は能きぬ、こいつに困るな」

「德兵衞は大腹、濱田樣御屋敷へれ出入も致し居れば少しは武士道の嗜みも有る筈、すれば理を云ふて斷るに、さのみ立腹も致すまいと心得ます、萬事は私へ御任せござりませ、決して惡いやうには致しませぬ」

「でもあらうが、浪人の便宜も無く、れ身の縫針ばかりを唯の命の綱、する身は、一軒の花主も大事、小供同樣とは申せれ道、十五、少しはそれ等考へもあらうと察しる、一應當人の心を聞いて見ては何うあらうの」

「れ道もし海老屋へ緣付くと申したりや、あなた許可ござりまするか」

「後を心細くは思ふが、さし當る難儀日々の事には替られぬ、當人が參ると云はゞ、止むを得ず緣組致さうかとも存する」

「憎ないれ詞承はりまする」とれ力は兩眼に淚を浮べて「誰あらう、本多肅之助樣御家老、千五百石の御主に生れさせながら、貧苦に迫つて町人と緣組、御先祖御位牌に對しても辨解ないことでござります」

「私もそれを存ずるが、時代なれば止むを得ぬ」と佐五右衞門は淚を見せじと他を向き「兎も角當人に申し聞け見やうでないか」

「樹ら遊ばしまするか」

「それに姿が見ねたやうぢや、れ道は」

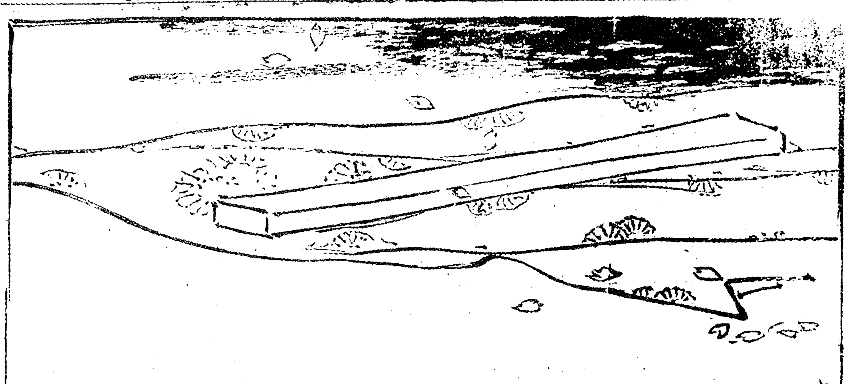
「れ道、れ道」と佐五右衞門は呼び立てぬ

「はいこれに居りまする」とれ道は奥より驅け出で、二人の前に手を突きぬ、二親の密々話、立聞きしてゐりたる樣なれど色には現さず、例の如く清き眼清き眉、清く美はしき顏の色なりき

「さて今日はちと込み入つた話じや、實は今參つた德兵衞が、そなたを伜德右衞門の嫁に欲しいといふ、町人なれど有德の者、殊には石州濱田殿御用聞、少しくは御扶持も戴き居るといふ、浪人の身に取てはさのみ耻かしい緣でも無い、餘事とは違ひ、人間一生の大事、返答無理には勸めぬ、れ身の心次第、返答は何れとも致し遣る、包むことなく少しも無い思ふ通りを眞直に云ふて見やれ」と穩かに云ひ聞けぬ、れ力も側より口を添へて

「只今れ父樣仰せの通り、生涯の一大事、誰に心を兼ねずとも、胸の中打割て申し上げや」

れ道はこの時、覺悟の顏を沈と擧げぬ、小供ながら沈着きたるが、この少女の特色なりき。



廣告

東京電報（廿一日）

▲宮内省と正閏問題

藤澤代議士 度國定教科書中南北朝正閏問題に就き議會に質問書を提出するや當局者は百方之れが撤回に努め鬧て之れを撤回せると同時に議員ノ職をも辭するに至りたるが該正閏問題は今尚各學者間に盛に論議せられつゝあり文部省は翻教科書編纂に際し宮内省側の意見をも參酌せる旨傳ふる者あり右に對し河村次官は語つて曰く宮内省は數年來より歴代天皇の御治績並に御系譜に就き調査中なるは事實なるも今回の教科書問題に就ては新聞紙の傳ふる所に依りて始めて知りたる位にて該教科書編纂に際し文部省は勿論編纂係員と未だ嘗て何等意見を交換したる事なしと

▲閣臣引責案提出 國民黨は大逆事件其他に關し長文の閣臣引責決議案及理由書を本日議會に提出せり

▲問責案の内容

既報の如く昨廿一日國民黨は問責案を衆議院に提出したるが同案の内容は第一は大逆事件に關して 聖德聖慮一に五千萬の民を赤子の如くに慈撫し給ふ此の聖代に當りて彼れの如き逆臣賊子を出したるは之れ全く 聖上の政事を參輿せる閣臣の補佐其の職に副はざるが爲めにして、千古の恨事は死も亦償ふ能はざるに僅に形式的待罪書を捧呈し聖恩の寛宥に遁び恬然其の罪を知らざるもの〻如きは敢て同胞の宥さゞる所なり又第二は小學歴史教科書南北朝正閏に關し、國体の尊嚴を無視し、恐れ多くも皇室の威稜を損ずるが如き妄説を掲載して自ら怪まざるは實に國民教育を誤るものにして局に當れる閣臣の共に免るべからざる責にして閣臣は自ら宜しく處決する所あるべしと云ふにあり

▲犬養氏の演説 國民黨は別項閣臣引責の議案を提出し二十三日犬養毅氏の演説ある筈

▲貴族院總豫算會議 貴族院にては豫算總會議を開けり

▲議員招待と清公使

我帝國議會の清國資政院議員を招待に就き汪清國公使は曰く清國は時に憲政を施行せんとする際なれば我帝國議員をして日本憲政の運用を見聞せしむる時は蓋し其の裨益する所鮮少ならざるべしと大に賛成を表し居れり又外務當局者の意見は政府として之れを招待せんとするに非ざるに依り某閣同事の關係なしと雖も我帝國議會自ら主唱となり列國議員と交歡して其の親交を保たん事は之れ大に賛成を表する所にして勿論異議なしと云ふべし

▲資政院議員招待

我帝國議會より清國資政院議員を招待せんとの議あり各派交渉會に於て可決せられたるが其の方法、期日等に就ては一切議長に一任する事とし貴族院に交渉する事に決定したり

▲伊弉將軍と勅諭 新に伊弉將軍に任ぜられたる志鋭氏は直に入京し攝政王に謁見する筈なるが其の際 陛下は國境問題に關する重要なる勅諭を下さるべし

雑報

●本爵記奉授式

山縣政務總監は勅命により二十二日午前十一時より總督官邸に於て國分人事局長桑原秘書官、藤波通譯官、陶山通譯官列席の上朝鮮貴族侯爵李載完以下六十餘名に對し爵記本書奉授式を擧行したり各貴族の三分の二は何れも新調の大禮服を着け他は燕尾服を着し爵記本書を受け正午十二時式全く終了したり尚ほ當日出席授與されたるもの〻氏名を記せば左の如し

▲勳一等侯爵李載完▲同李載覺▲同李海昌▲同李海昇▲同尹澤榮▲勳一等朴泳孝▲勳一等伯爵李址鎔▲勳一等閔泳璘▲勳一等李完用▲子爵李完鎔▲勳一等李埼鎔▲勳一等子爵朴齊純▲同高永喜▲同趙重應▲同閔丙奭▲同李容植▲勳一等金允植▲同權重顯▲同李夏榮▲同李根澤▲同任善準▲同李載崑▲同尹德榮▲同趙民熙▲同李秉武▲子爵李根命▲同閔泳奎▲同閔泳韶▲同閔泳徽▲同金聲根▲男爵李根湘▲同趙羲淵▲同朴齊斌▲同成岐運▲同金春熙▲同趙同熙▲同朴箕陽▲同金思濬▲同張錫周▲同閔商鎬（▲同趙東潤東京に於て）▲同崔錫敏▲同南廷哲▲同李乾夏▲同李容泰▲同閔泳綺▲同李鍾健▲同李鳳儀▲同尹雄烈▲同李根澔▲同金嘉鎭▲同鄭洛鎔▲同閔種默▲同李載克▲同李容元▲同李正魯▲同金永哲▲同朴容大▲同金宗漢▲同金思轍▲同李胄榮▲同閔炯植

以上六十五名にして他の十二名即ち子爵に於て宋秉畯氏一名男爵に於て兪吉濬氏外十名は病氣其の他の事故により欠席したり

●朝鮮問題と議會

二十一日兒玉會計局長より總督府に達したる電文左の如し
本日衆議院に於て四十年法律第四十八號及び同年法律第四十九號改正案の第一讀會を開き安廣政府委員ノ説明ありて特別委員附托となれり
本日貴族院豫算委員會に於て寺内總督は併合の趣旨併合の顛末の概要より說き起し併合後に於ける行政組織殖産興業教育現狀の一般より產業教育資金の分與慈惠病院の設立等より更らに豫算經常費目中の重なる事業即ち治道鐵道築港計劃より將來に於ける產業方針大体に就き說明せられたり

●北里博士歡迎

市有志は來廿四日夜入京の筈なる北里醫學博士を招待して一場の講話を乞ひ次いで歡迎宴會を開く筈のところ博士は前程を急ぎ居り其餘日なき事なれば止むを得ずこれを見合せて何れも二十五日午後四時より京城ホテルに於ける明石總長、藤田醫院長發起の歡迎會に出席する事となりしが二十二日峰尾民團助役はなほ念の爲め民會議員、衛生組合長其他に對して時節柄出席方を勸誘せり

長春に於ける北里博士

二十一日夜長春に在る山根囑托より防疫本部に達したる電報に依る長春に於ける北里博士の動靜左の如し
本日北里博士一行と共に長春に着す日本側隔離所避病舍を見る避病舍内には腺ペストの屍体あり解剖せんとせしも屍体凍結の爲め目的を果さず脾臟及腺より作りたる標本を見る、博士は道臺と會見防疫意見を開陳せしに道臺は頗る熱心に傾聽し實施する旨答へ尚ほ日本醫師の傭聘を博士に依賴したり▲道臺の案内にて一行馬車を連ね城内に入る、平素人馬交通織るが如き城内も今は寂として、ペスト發生家屋軒を列ねて交通を遮斷せられ或は燒棄せられ居る等悲慘の狀況を呈し居れり火葬場には死屍累々として横はり其數約五百を算す燒棄せる火焔天を焦し其悲慘名狀すべからず又犬馬の斃死するもの多數あり犬は遺棄せる死体を喰ふ爲めに罹病せしものならむか避病舍の通路には新たに埋葬せる墓碑數百あるを知らず其傍に遺棄せる死体數個あるを認む、避病舍内には九名收容せらる之れを視察せしに氣息奄々輾轉反覆死に瀕せるもの〻血痰を出し苦悶せるもの等あり治療看護備らざる爲め死を待つもの〻如し尚は續々患者を輸送し來るを認む本日午後五時當地出發哈爾賓に向ふ

●來年度建築工事

朝鮮總督府に於ける來年度の建築工事は總べて百二十五萬一千百七十圓の豫算を以て經營さるゝ筈なるが其主なる内譯は廳舍新營費八十萬九千二百二十九圓、官舍新築費十三萬四千三百三十三圓、廳舍及び官舍設備費十七萬〇七百三十一圓、及び營繕費七萬五千〇九十一圓なるが之れに昨年の繰越金六十萬圓を加へて夫れ／＼新築及び修繕工事を爲す筈なり因みに前記各費の主なる内譯を詳記すれば左の如し

京城中學新築費	八四、六〇〇圓
警察廳舍新營費	一〇三、〇〇〇
裁判所監獄新營費	二〇〇、〇〇〇
總督府醫院增築費	七八、四七四
慈惠醫院新營費	二八、〇〇〇
地方倉庫新營	六〇、〇〇〇
通信官署新營	一三〇、〇〇〇
其他師範學校任東京留學生寄宿舍費	

●大邱煙草試作成績

大邱煙草試作場に於ける四十三年中試作反別は三反三畝歩にして成績頗る不良なりしが右は植付當時に於て久敷旱魃の打續きたると收穫期に於て十數日に涉る降雨ありし結果葉幹を害したるに基因せるものと雖も主として連作の結果無數の害虫發生し幹内深く害虫の喰ひ込みたるもの〻如く此れがため著しく發育を害したりしなるべく平年作に比し約二割の減收を見たるは試作場のみならず昨年一般の結果なるが之れに反して地方に於ける原料拂底を來し更に一方に於ては近時朝鮮烟草の需用著しく激増しつゝありたるため價格突然昂騰を來し常に一貫一圓五十錢なりしもの一躍二圓七八十錢より最高三圓三四十錢を稱ふるに至れり結果農民は二割の減收を見たるも收益に於ては例年の約四割を增收したるが如き現象を示したり之れがため農民等は豫期以上の收益を得たる結果本年の如き一層耕作植付け反別を增加せしめんとの計畫にて既に準備中なるもの〻如くなるも一般農民耕作に係るものは連作に連作を累ね益々烟草の質をして疎惡ならしめつゝあるも農民は何等顧慮する所なく只收益にのみ執着せる者の如し斯くては慶北特産の品質を害する虞ありとて大邱烟草試作所に於ては方法を講じ居れりと云ふ

●咸鏡道の移住民

由來咸鏡南北道の年々の凶歉の爲め其道民は昨年來間島方面に向け移住する者多かりしてとは當時屢々報道せる處なるが今回同地方の民は移住地の方向を變じ忠清南道、公州郡鷄口方面太田里地方に移住するもの〻多きに至れるより其筋にては是れに對して保護を與ふべきは勿論なるべけれども目下南朝鮮に移住せし原因等に就き夫れ／＼調査中なりといふ

●満州農作見越

各地に於けるペスト流行の爲め苦力の南下を多少遮斷し得たりとは云へ已に大部分山東方面に歸還せる折柄今後鼠疫流行が何時迄繼續するものなるや否やは未定なるも果して解氷後各地農作開始時期に入るも依然猖獗を逞ふするに於ては其結果例年耕作に要する勞力の不足を告ぐるに到るべきは勿論にして加之ならず現に奥地農家中にも多數の罹病者ありたる事とて自然播種時期に際し植付反別も多少の減少を見るならんが本年の作柄を假りに平作以上とするも今秋收穫高は爲めに少なくとも平年の七割位減ずるやも知れずと一部輸出業者間に傳られつゝあり

●礦業權廢棄 今般礦業を廢棄したる者左の如し
▲咸鏡南道永興郡仁興面德興里、金鑛 咸鏡南道永興郡東院里李東鎬外一名
▲江原道春川郡西下一作面、砂金 江原道春川郡府内面徐淵里 栫木眞之助

京城市區改正に就て

大庭府尹談

京城市區改正問題起り京城民會に建議さるべしと然れども予は嘗て之を耳にせず故に何等之に關する研究調査をも爲さゞれば素より意見のあるべき筈なしと思ふに總督政治開始されしより僅かに六閲月萬般の秩序尚ほ立たざるに斯かる問題を叫呼するも誰か注意を拂ふものならんや元來本町通の市區擴張の如きは之に利害の關係を有する一部人士の唱道にして必ずしも重きを置くを要せず而して之が斷行となり全市街の大整理を希望するに到るものなるべきが斯かる大問題は容易に成立し得べからず見よ東京市に於ても明治二十年頃漸く市區改正問題萌生し數年の久しきに亘りて始めて實行に着手せるに非ずや然れば斯かる大問題は漫りに之を唱ゆるも到底詮なきものと知るべし云々

●坊制度の由來

京城府補助機關として坊長制を施行せんとは昨紙所報の如くなるが聞く處に依れば舊韓國時代に於て兪吉濬を會長とせる漢城民會設けられ其下に坊長を置き大に自治機能を發揮せんと企て時の内部に之を申請せしが遂に不認可となりたるものあり而して其坊なるものは洞契を綜合せるものにして區域も亦廣く城内外に亘たり四十六坊あり今回當局者が公認せんとし現に詮議中に係るものは即ち此遺物なるが唯だ其過多なるは現在朝鮮人の潜稱せる坊長なるものは孰れも堂々たる貴族多きに顧み幾分の參酌を加へ十五六の坊長を置かん筈なりと云ふ

●龍山市街電燈架設

龍山新舊兩街には電車通りに會社が保線の爲め架設せし電燈あるのみにて雨天若くば暗夜の際は行人の不便尠からざるより龍山繁榮會より交渉に對し日韓瓦斯は三ケ處へ無償にて瓦斯燈を設備すべき旨を快諾したれども未だ點火に到らざりしが民團にては來年度より市街電燈六個及び瓦斯三四個を架設すべく目下取調中なりと

●陸軍紀念祝賀會

奉天攻擊の陸軍紀念第七週年の祝賀會は全朝鮮陸軍關係各地に於て來る三月十日何れも盛んに擧行さる筈なるが殊に朝鮮駐劄軍にては併合第一回の紀念日に該當するを以て軍司令部幕僚其他は祝賀式を擔當し第二師團司令部の幕僚は餘興一切を擔當して盛んに祝賀會を催ふす筈にて目下夫れ／＼計畫中なるが軍司令部構内の裝飾は勿論軍樂隊の演奏及び角力、銃劍術、騎乘等を始めとし最も奇抜なる餘興の仕込中の由にして同日は午前十一時より祝賀の式を擧げ李王、山縣政務總監等臨席の筈なり

●善隣商業生徒募集

商業家の子弟又は將來商業に從事せんとする者に適切須要なる商業教育を施し實用的人材を養成する目的にて大倉喜八郎氏の寄附行爲に因り設立せられ居る善隣商業學校は今回新學期生徒募集の由今入學志願者の爲め志願者心得及び參考資料を左に掲載せんに

▲修業年限 三箇年教授科目は商業道德、國語漢文、英語、數學、商業要項、商業實踐、簿記、商品、商業地理及商品、法制經濟（貸入學者には教科用書及授業用品を貸與す）
▲入學者の資格 年齡滿十二歲以上の男子にして普通學校卒業又は此と同等以上の學力を有し志望堅固品行方正身体强壯なる者
▲入學試驗 四月一日（陰曆三月三日）午前九時より施行
▲試驗科目 國語漢文（日本語漢文）算術（四則）地理（内國）理科（簡易）
受驗者は筆墨紙鉛筆小刀等受驗に必要なる物品携帶の事詳細は同校に問合さる可し
因に明治四十年設立後卒業生を出せし事三回六十六名にして就職別は銀行員（三十九名）●會社組合商店（十七名）官吏教員及自家營業其他（十名）なる由

●學術講話會組織

藥師川京畿道警務部長主唱となり混回京龍間の憲兵隊及警務部職員の爲め毎月二回土曜日午後一時より四時迄學術講話會を開始すべき都合にて二十一日來回章して同意を求め贊否の如何に拘らず來廿六日までに回答を促しつゝあるが彌成立の曉には軍司令部、警務總監部、京畿裁判所、裁判所中の學識經驗に富める知名の士に義務講話を囑託し場合によりては會員の出講をも許すべく尚ほ聽講希望者は會員外と雖も憲兵隊長の承認を得るに於ては喜んで歡迎すべき筈なりと

●仁川商業會議所 今回集金人として豊島重太郎を雇入れ廿三日より執務さする事に一昨廿一日決定せり

●隈本前學務課長談

前學務課長隈本繁吉氏は今回臺灣總督府語學校長に轉任し近々當地を去る由なるが氏記者に語つて曰く凡そ各般の行政中教育行政ほど六ケ敷くして且つ成績の擧がりにくいものはない殊に國民性を異にする朝鮮人を教育する事なれば其至難は言ふまでもない併し幸にして大過なく經過し得たのは洵に光榮の至りであつて顧ふして今後とも作隆其發達進歩の速かならん事を祈つて居る回顧すれば前後既に三箇年になる故に何となく感慨殊に深からざるを得ないナニ對朝鮮人教育に關する意見を……餘り立ち入つて喋々饒舌ると却つて嘗り障りが出來て善意で話しても惡るく取られる場合があるから予又吾々に擧政上の大方針を問はれても夫んな事が分かるものか分つたつて答辯の限りに非ずサ教化上から見た朝鮮人は如何と夫れは素より行り樣次第にもよれば見ように依ても違がふ實は大に意見もあり話もしたいが西洋人を訪問する約束で嚴重なる西洋人の約束時間に拘束されて居るから何れ復電話で打合せて會ふ事にしよふ

●團体連絡賃金改正

鐵道院にては日韓連絡團体に對し各線共賃金五割引の處來る四月より朝鮮線線内及び關釜間を五割引とし院線内（關釜間を除く）は普通賃金に改正すと云ふ

●隈本事務官出發期 今回學務課長より臺灣外國語學校に轉せる隈本事務官は來る廿六日出發す

●善隣學校長下仁 本宮家彦氏は廿二日午後四時着にて下仁出迎人と共に民團役所に入り休憩の上仁川商業夜學校の成績一覽すと云ふ

公人私人

▲川上常郎（平安北道長官）廿一日入京三日月旅館投宿
▲岡村六之進（農工銀行海州支店長）同上山本旅館
▲平澤道次（日韓瓦斯電氣株式會社監查役）入京中の處廿一日釜山へ
▲篠田釦治郎（東亞煙草會社平壤販賣主任）同上平壤へ

▲仁川港の出入船舶▼

▲郡山丸 二十三日大坂より入港
▲香椎丸 同 釜山に向出港
▲秀吉丸 同郡山木浦釜山下之關神戶大坂向出港
▲大有丸 同上向け出港

▲京城手形交換高▼

二月	金高	枚數
廿二日	一四六、六五〇、四〇	二一七

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 二十一日の分
乘車客 五六三 下車客 六六九
乘車賃金 一五〇四、六八
▲南大門驛貨物高 二十一日の分
發送 六四噸 到着 四〇〇噸
貨物賃金 九〇六、〇五
▲龍山驛乘降客 二十一日の分
乘車客 一七五 下車客 二五三
乘車賃金 二八七、五〇
▲龍山驛の貨物高 二十一日の分
發送 二七噸 到着 八九噸
貨物賃金 四三四、九七

▲治外法權▼

滿州のペストが朝鮮へ來なけりや浦鹽方面へ出るダロウとは今から三ケ月前藤田總督府醫院長の言つた言だ、餅屋は餅屋、酒屋は酒屋だ、商賣柄とは云へ良く判つた者だ▲ペスト軍が鴨綠江を渡れずして浦鹽方面へ向つたのは吾人朝鮮在住者にとつて幸福な事だ、併し此幸福たるや國家の賜で、言を換ゆれば共同生活の御蔭だ▲聞く防疫軍の大將明石警務總長は防疫戰の開始以來寢食時を得ずして其躰量二十斤を耗つたツうだ、二十斤の體量乃ち血肉を削いで吾人の幸福を圖れる明石將軍は慥かに仁者の行をしたのだ▲と賞たからとて圖に乘て油斷をされては困る、今や新義州方面から驅退されたペストは渾春を經て間島方面に侵入せんとして居る、將軍明石たる者其体量の全部を犧牲にして可なりだ▲東拓の宇佐川のヨマイ言も古い者だが未た中々止みツクにもないのは困つたものだ、彼過日釜山に於て釜山日報記者をとらへて曰く東拓の非難攻擊も度々新聞で見るが新聞屋先生に說明しても一朝一夕に會得する人は少ない何れも唯だ一寸話を聞きかぢつて書くから困る▲今ではモウ說明しても駄目だと諦めて居る、新聞でも話がないからアンナ事でも書いて置くんだろう▲併し朝鮮の田舍に行くと鮮人農民は東拓の社員を神樣の樣に云ふて非常に優遇するよ▲宇佐川の嘘は今に始まらぬ事だが、小作の契約や小作米の取立さへ憲兵巡査の厄介にならねば出來ない事のない東拓の社員を神サマの樣に優遇するとは何の事だ、アーあのシヤリの無い宇佐川の口から新記の樣な嘘がヨク吐けたものだ▲嗚呼同じ軍人でも明石少將は防疫に於て仁者の行をして居る之に反して宇佐川は勿体なくも身現役陸軍中將でありながら嘘を渡世の樣に吐き居る、明石と宇佐川比較して見ると實に情無く感ずる▲此頃の陽氣で浪速節の頌風會、諸の五雲會、義太の梅鶯會が大活動を始めた、蹈る、唸る、大に結構であるのだ、而して諸子が鑿鑿を以て鮮人を同化し得れば尚は結構であるのだ。

▲相場電報

（京城西村支店着電）

▲大阪株式（三月限）

	前場	後場
▲京坂同	六五、四〇〇	六五、四〇〇
▲電鐵同	六五、四〇〇	六五、二〇〇
▲大阪同	六九、一〇〇	六九、〇〇〇
▲紡績同	六九、一〇〇	六八、九〇〇
▲[illegible]同	一〇九、三〇〇	一〇八、六〇〇
▲電燈同	一〇九、一〇〇	一〇八、七〇〇
▲大阪株式同	一三二、〇〇〇	一三二、四〇〇
▲同直同	一三一、六〇〇	一三一、三〇〇
▲取引同	一三〇、三〇〇	一二九、八〇〇

▲大阪期米

●依場二月寄十五圓八錢▲止六錢▲三月寄二十二錢▲止二十一錢▲四月寄三十五錢▲止三十四錢
●廿二日前場二月寄十五圓六錢▲三月寄二十一錢▲四月寄三十五錢

十圓九十一錢▲最高十一圓六錢▲最低十圓八十九錢▲止十一圓
●廿二日前場二三年出來不申▲四月寄十一圓五錢▲最高低止同上

▲神戸電報引 ▲大阪株式(西村支店着電)(三月限)(後場) ▲大阪紡績 同 ▲鐘紡 同 ▲東京電燈 同 ▲東京株新 同 ▲取引所 同 ▲大阪期米 ●廿日前場二月止十五圓八錢 ▲三月止二十二錢 ▲四月止三十八錢 ●廿二日前場二月寄十五圓六錢 ▲三月止二十一錢 ▲四月寄三十五錢 ▲仁川米豆取引 ●廿一日後場二三月出來不申 ▲四月寄十一圓五錢 ▲後場既止同上



藤公劇と筑前琵琶

▽吉田竹子女の東上

故伊藤公の追悼會か今回東京に催さるゝさうだが之に就て藤公劇なるものが仕組まれ麴町區有樂座で來る二十六日より五日間、羽左、梅幸、高麗藏等の一列で演せらるゝことになつて居る劇は元國公の秘書官古谷久綱氏著の「藤公餘影」中より其壯年時代に屬する分のみを摘録し巖谷小波氏が都合四幕に脚色したもので隨分悲壯な所があると云ふ然るに此劇のみでは何だか喰ひ足りないと云ふ所から之に公が生前最も好まれた筑前琵琶を一席加ふることゝなり古谷氏より此旨電報で筑前博多東公園閑居中の斯界の名手吉田竹子女史の許に報じて來る竹子近來健康甚だ勝れず靜養旁々數名の門生に教授をして居る位だが外ならぬ公の追悼會だと云ひ且つは古谷氏再三の電招に默止難く二十三日同地出發上京の途に上るとのことである而して之に就ては●琵琶歌作家として有名なる福岡の今村外園氏が特に竹子の爲めに「藤公」なる新作を著はして同人に交付し竹子は之に手をつけて昨今殆んど完成の域に達して居る外園氏作の「藤公」は哈爾賓遭難の一節を叙したるものにて字々血あり句々涙あり一讀悚然として形を正さしむるものがあるそれに竹子が例の美音と妙技とを以て之を彈じ之を奏するのだから京都の人士蓋し泣かざるは莫けん因みに外園氏近作としては嫩源氏、鉢木、吉野靜、村上喜劍等あり何れも近く上梓の筈だと云ふ。

活動寫眞

漫画子

二十日朝の南大門驛

曇りもやらず晴れもやらぬ朝雲は漢城の天地を包みて深閉沈鬱の氣が漂ふ、「春眠不覺曉、處々聞啼鳥」放れがたの寢床は、償ひ千金の晨刻を惜むも幸なき身には、天惠を棄てゝ街上に出づるの已むを得ざるに至らしむる。停車場に入れば、一人の男、傍人に語らく、電車を降りんとして左手を柱に當つ、刹那半身忽ち感覺を失ふと共に吸引せられし如く頭骨を打ち、口齒を折る、併かも何の故たるを解せず、傍人幷は感電せし結果ならんと、事小に似たりと雖ども、看過すべきにあらず、感電致死、文明國に於ては往々に見る常現象にして、充分當局者の注意を留まざるを得ず、而して彼は明治町二丁目萩原順吉なりと。

手荷物棚は無數の行李が滿載せられて大邱行常尾留吉とか、宮地信治とか、長崎縣島原水山テウとかの名が見ゆる擱畔、一瞥すれば、山本旅館の紙片に平壤高等學校學監美濃嘉榮七と記した小カバンや、三日月旅館の川上樣と書した小荷物類がある。

午前九時、寂寞たる場內に振鈴一番、釜山行の列車は緩やかに去つて、同九時十分、新義州行列車は、尤も少數の乘客を拉して去つた。

驛前一輛の自轉車がある、辯護士岩田仙宗君の失れだ、ひらり飛び乘つた男は忽ち疾驅し去つた。

見渡せば無名の小丘に連く、バラ〳〵松は、南山の一角に膨きて、雪册の墨畫を展べたようだ。

●仁川の海賊捕はる

仁川永宗島邑洞統戶不詳崔千乙(二四)仁川多所面松峴洞統戶不詳韓般弼(一九)の兩人は明治四十三年陰曆十月廿日夜南陽郡靈興島沖に假泊し居たる忠淸南道沔川郡鄭學振の船に亂入し躍て月尾礁に使用せし鄭鋒を振舞して强喝し時恰も鄭の船員一同は食事中なりしかば此の室より外へ出ると鐵砲にて打殺して仕舞ふぞと脅し同船に積載しありし米糀二百八十俵の中百十二俵を强奪し自分の船に積替へ忠淸道方面へ逃走し南陽郡の近海に潛み居り內六俵は自宅の食料として殘百六俵を仁川松峴洞李公振に四百〇五圓に賣却し何喰はぬ顏にて居たる處を仁川警察署の小池、朴、咸の三刑事が嗅附け去る廿日の夜各自宅に居る處を擒へ目下嚴重取調中 因に前記米糀は京城東幕李德裕の所有也と

●類の少い馬鹿者

仁川濱町二丁目漁業山口初太郎の實弟勇太郎(二七)が去る廿日午前九時頃泥醉し出刃庖丁を振廻し兄を脅迫し正に危害を加へんとせし處を附近の者共驅來り漸く鎮撫せし顚末を報道せんに勇太郎は寺町二丁目の花の井と云ふ料亭酌婦で一寸滋皮の剝けた○子と云ふに屈魂惚れ込み有頂天となり○子でなければ夜も日も明けぬと通ひ詰めたる結果は兄に○子の身受けをして與れとの相談を持懸けたる處登料登らんや越中褌は先から外れるの縱令堅氣の兄の聞入るべくもあらず一言の下に蹴付たれば勇太郎狂氣の如くなり動くは大立廻を演せし次第なりとは困た痴漢なり

●各署の鼠買上數

廿一日各署鼠買上數西大門分署二八九東大門分署二六九南部署〇〇〇水門洞分署二九五龍山警察署二五二北部署一七六銅峴分署一一三龍山憲兵分隊二四

●漢江人を呑む

二十日京城北部延禧坊水上里三統八戶李般昌(三二)は同坊休岩里の船渡場附近にて秣草を刈取り午後二時頃歸宅の際漢江氷上を徒步中半は融解せし氷は忽ち崩れアハヤと見る間に李は解氷と共に氷中に陷沒したるより里民は即ち之れを水色里憲兵出張所に急報し一同必死と船を下して搜索の結果其下流にて發見したるが此時遲し早李は絕切れ居たりと時節柄用心肝要なり

●樓主の誘拐嫌疑

本町一丁目裏君の江樓主長谷川精一は兎角の評絕へざるが抱へ酌婦山本みね(二〇)が親の承諾書僞造並に誘拐嫌疑被告事件にて南部署に於て取調中なるが山本みねを橫濱より連れ來り賣淫を强ひ爲めにみねは間もなく惡性梅毒に罹り入院せし由にて最初數箇月は無鑑札にて營業せしめし事實も判明せし由なれば其筋に於ては如斯事件は精密に取調べ嚴重なる處罰を加ふ可しと

●タニフンの失策

福岡縣人當時南米倉町澤田熊吉(四六)宮城縣人當時住所不定竹川喜助(三〇)の二名は互に先方の懷中を當にして二十日午後六時頃より旭町地獄谷萬遊樓に登樓三圓六十錢の遊興費が支拂へず南部署に訴へられ目下取調中

●賭博犯人の檢擧

山口縣人當時隣町四十八番戶白石幸次郎(四六)北海道函館區元町四十七番地當時南大門通り三丁目石炭販賣鶴谷榮太郎(三九)の二名は二十二日午前五時頃白石方に於て金錢を賭し博奕を爲し南部署に檢擧され目下取調中

●苦助拘留さる

既報伊藤組車夫森熊太郎(二二)立石梅吉(二五)伊藤喜助(二五)の三人が明治町二丁目三桝屋にて亂暴したる事件は南部署に於て拘留十日の即決

●說諭

仁川龍岡町居住の李某外一名は道路に柱を立て通行に妨害なしたる廉にて說諭取除かしめたり

●仁川妓生の檢梅

仁川中外洞妓生組合事務所にて昨廿一日警察官及久木田警部同仲廿六名の檢査を施したるが內五名の有毒者あり入院治療を申付け健康者は廿一名なりと云ふ

京城の眞夜中(五)

みや生

畑君の家の戶を叩くと老女の聲で何處からと問ふ(前號未だ細君とありしは校正の誤)「太平町の○○さんから參りましたが畑さんの御宅は……?」と言ふと內では「アノ此の間來た方の?」と內所話ハイ〳〵と老女は雨戶を開けると氷屋の道具が塞さうに庭の隅にあつて俥も一臺閑居して居る、ハイ之が女子大學生樣の御宅かとオツ魂消た次第である、內儀さんは褞袍を引被つた儘二分心の洋燈を手にして出て來た、「今日は少し取込があつたので今しがた休んだ計りで、さア何卒ぞ此方へ……」と導引かるゝまゝ奧の溫突へ通つた、今夜は他に少し要事があつて逐ひ遣ひ〳〵なつた、と云へば、あゝ左樣ですか、あの○○さんから……へ、エまだあなたれはこで一度も出た事はありません今年十九です高等女學校出で女子大學校へも入學ましたが家の都合で中途で退學ました音曲も踊も出來ます」と言つて右手を小びんの邊へかざし踊りの手附きをして見せた風恰好は只者で無い之も只ハ鼠おやないらしい。孝行の履踐ひ。罪惡は袴で隱す。「今、御眼に懸けますよ、○○さんは」內儀さんは獨りで點頭いて更に言つた「近頃御店の方が御忙しいそうで、ちよッとも御見へになりません」其れから所謂女子大學生なる、娘を呼起して來たのを見ると成程十九位であらうとは點頭れるか大學はさて高等女學校を卒業したなぞとは噓の皮らしい、

●演藝だより

●歌舞伎座 人氣深山なる男女合併劇廿三日の替り狂言前「俠客野晒吾助」七幕切「彥山權現毛谷村六助」一幕にて配役は浮世戶平毛谷村六助(正三郎)娘お大(福司)下女お卷、母お幸(淺吉)翁龍助、尾之衛門(尾之吉)大場二三郎(雀十郎)六字南無右衛門、忠藏(花笑)野晒吾助、吉岡おその(鶴二郎)

●壽座 初日開演早々非常の人氣なる新派正劇廿三日の藝題は菊池幽芳作「人心」全六場を演じ何今回は前例なき大勉强にて觀劇料特等五十錢一等三十五錢二等廿五錢三等十五錢特に午後六時迄の御來客に對しては十錢の御土產券を出す由にて重なる配役は長次(青山)興吉(花島)蕗曇(村山)妓園大(藤島)若旦那梅太郎、瓢屋女將(淺井)藝妓小糸(室井)箱屋仙吉(一二三)磯部(五味)松原女將(郡)女中龜(堤)長兵衛(北村)車夫(上田)巡査(森)

●仁川敷島便り

世の中何となり靜まりて犬の遠吠物凄く聞ゆるのみで體つ張り人の通りが少い新道を線に廓に入る驚く勿れ野郎猫一匹の通行も見ず實に……同情に堪へん……ながら黑門を這入ると敷島樓何やら玄關先でがや〳〵騷ぐので何事かと何氣なく耳を傾くれば仲居と男二人の娼談なり……盡代金は二圓五十錢で定まりたと見へ仲居立ちて二人を表の琴次の部屋に案內せり其の男の一人は山田と云ふ▲一山樓 仲居のきみが太腹でも空いたのがらざん三盃を注文する所であつた裏の八千代の部屋では三味線の聲が洩れて居た、八千代の辯てくだまきや……の歌は確に鼻下長を生殺にする一藥だ▲ヤゝと意勢克く藝妓風の女を乘せて同樓玄關に梶棒を下ろしたのは榮亭重之助が或る旦那筋を送り込む所であつた

仁川商店めぐり

本町四丁目 北島藥店

藥九層倍とは古來より克く人の云ふ處僞偽はいざ知らず現に角樑一貫から築上げて今や一箇年七萬圓餘の商買と成た北島藥店主伍三君は東京の人明治廿九年當仁川に流れ來り浮浪の身で有たが天民を稀て北氏又鑿禪一番何事か成らざらんやと臍を堅めたのが四十一年の事藥屋の小店を開くの餘力を得たが時々風雲雅ならずして非難の聲なきにしも非れど克く寸志を貫き得たるは策の宜敷を得たので今や旭日昇天の勢を以て繁昌しつゝあるは他人の羨望する處なり氏又慈善心に富み目下貧困者に對しては一般に無料調劑をなし施藥なし居る杯にて德望益々高し

今日のお運勢

●二月廿二日舊正月廿四日六白癸亥赤口納三りんぼ八專

●一白 旅行の事、受身の事遂行吉新事に忌む旅行轉住婚談進んで吉△二黑 婚談養子合同連盟ノ事に吉色情及閨門の亂れを戒しむ△三碧 新事旅行見合せの事金品授受及不動產の事故障起らんとす負傷遺失防くべし△四綠 不如意の事多し金談旅行婚談起業開店凶負傷盜難資しむべし△五黃 破綻し易き日新事及談合中裁合同結社訂約効無し酒色賭事を戒しむ△六白 新事旅行婚談金談貸借効無し組合委託擔保證書保證の行爲を避す△七赤 擾亂し易き日中傷葛藤不和紛爭釀し新事旅行見合せの事△八白 交際取引計算に不平不服生じ易し新事旅行見合せの事△九紫 部下

▲平民文壇▼

▲書齋は溫突、幽敷十二疊、次間六疊、臺所六疊、玄關、洋室、上下便所、湯殿、水道、瓦斯五ヶ所付南山公園下にして後に南山を控ゆ一瞬京城全市を見下し土地閑靜隣家無く官吏向き好貸家御希望の方は電話一二九番に御問合を乞ふ直に御相談可致候(三好)▲京城龍山仁川間に西洋手品輕業の出來る人御存知の方は當欄まで但三四人乃至四五人の一座にてもよろし(艷み度生)▲先般龍山鐵道官舍で上野豐秋氏の筑前琵琶を聽いたが仲々以て達人なり斯道を研究するなら宜敷師匠の撰擇が肝前(入門希望生)▲旭町開進亭の小万のお座敷は口八丁手八丁大に滿足した同じ一本七十錢なら此妓だ(せの字)▲馬鹿に肩を持ちますねアハ(小僧)▲平北部長は國境防疫を擔任して居るが絕へず手落し勝ち上級官廳の一考を煩す(民留民)▲異榮銀行とか云ふ妙な銀行の債券部では近頃京城に出張所を設け例の債券月賦販賣をやつて居るが主任の話に依ると購買者が一二度でやめれば丸儲けに成つて良いとか滿期に渡す償券も碌い〳〵人の對手にせない銀行の持て餘しものをやるなぞと濫手に藥の樣な事を云つて居るが諸君用心〳〵(ダマサレ生)▲十七日午後八時南大門通り三丁目菓子商松田とか云ふ家では六十錢の菓子箱を八十五錢に賣る主人曰くア、是れはデッチの貼付け違ひだつたとそれでは信用に(迷惑生)▲記者さん仁川商店廻りも至極結構なれ共時節柄可成的當地紳士淑女を問はず宜敷御筆誅されては奈何隨分面黑い問題が有ますよ(仁川案內者)▲仁川案內者に告ぐ御注告有難く頂戴仕候貴賤を問はず筆誅の處 係に於て先日來風邪に犯され寢込んで居ります起床次第入方說きをする考です時々便りを洩らして與れ給へ(仁川小僧)▲仁川新町に住む中山とか云ふ所では親子二人滾鮮なし下女を一人雇ひ入れ空瓶を買入れて居る傍ら前記下女を兩人の共有物の如くして居つたげな所が子供を產んだので親は知らぬ半兵衛を定め込み日本へ溜り後は番太郎と云ふ其の子と夫婦氣取りになり去る月無事安產したと云ふ事で故郷の親にも紹介して妻にしてくれと相談せしも聞入れざれば目下種々の手を盡して交渉中と聞く(皆妻生)